

新潟県

平成6年

公民館月報

2月

第492号

特集 高齢者大学終了生への対応



本成寺節分

鬼おどろ

その昔本成寺の僧兵と農民が力を合わせて戦乱を鎮圧した古事にならい、悪魔祓いの形で節分の豆まき行事として続けられている。

金物のまちにふさわしく、鋸・斧などの刃物を持った赤・緑・黄・青・黒の鬼どもを年男が豆を投げて退散させ、平和と安全を祈る。

(資料・写真提供)

三条市中央公民館)

平成五年度を振り返る

くらしの中の課題に挑戦

組織の強化策は今後に期待

公民館の今日的課題をとらえ

活動の質的深化を追求

熱気で会場を圧倒

去る七月五日(木)、新潟県公民館大会開催。県公民館大会が、本県各地で開催された。参加者六百余名という多岐の参加者により、大会が盛り上げられた。



第二回評議員会開催

主事部会設置は見合わせ

来年度県公民館大会は十日町市で

本県の公民館活動は平成五年第三回評議員会新潟県大会で、公民館を更に推進した。平成五年は、公民館活動の発展に貢献した。平成五年は、公民館活動の発展に貢献した。平成五年は、公民館活動の発展に貢献した。



設置

平成五年度のしめくくりの時期にあたり、当県公連の事業については本県公民館界の活動)について、事務局の窓から振り返ってみる。

まず、当県公連が重点として取り組んだものの一つは、くらしの中の課題を積極的に掘り起こすことであった。というのは、昨年度実施した「公民館自己診断テスト」の結果が「主催事業等の取り組みは真剣ではあるものの、暮らしの中の課題の掘り起こしは「いまいち」という分析結果が明らかにされたからであった。この課題の追求により変化の激しい今日の社会において、公民館が地域住民に対してどのように対応すべきかを考えようとしたものである。

このため、県公民館大会ではその主題を「公民館の今日的課題を考える」におき、シンポジウムと記念講演で、公民館事業の内容(必要課題)について主要な課題を取り上げた。

また、本紙においても、「特集シリーズ」として今日の課題の掘り起こしについて計画的にとりあげてきた。これにより、今後の公民館事業の質的深化充実はおおいに期待できよう。

一方、体制整備にかかわる今日の課題については、公民館長研修において、「職員体制とりわけ非常勤公民館長の問題」や「公民館運営審議会の問題」などを取り上げたものの、いずれも問題提起に止まっており、具体的検討並びに整備対策は今後待つものばかりであった。

このことから、来年度は「公民館の体制整備」に関する問題を重点として掘り下げ、慢性的な人的不足や、専門性の欠如に悩む公民館現場の望ましい公民館の体制整備はどのような可能性や限界などを考える必要がある。更に、分館や集落公民館のあり方については、この「公民館の体制整備」の問題の一環として継続していく必要があるように思われる。

また、県公連のもう一つの懸案だった、「主事部会の再結成」については見合わされたことから、現状のままでもいいのか新たな「充実強化策」を打ち出すのか検討する必要がある。

地域住民への思いやりと

あたたかいコミュニケーション

公民館 自治館 総合補償制度 加入受付中

取扱店 安田火災海上保険(株)新潟支店 TEL.(025)225-1812

開プロ公連理事会開催

第35回 開催要項決まる

1月28日(金)、厚木市(神奈川県)「厚木シティプラザ」を会場に開プロ公民館連絡協議会の理事会が開催された。

主要議題は来年度開催予定の第35回開東甲信越静公民館研究大会の要項審議にあった。

主管の神奈川県公連が用意した要項案はほぼ原案のとおり決定された。その骨子は次のとお

りである。
期日 平成6年8月25日(木)正午
開会 26日(金)閉会解散

会場 神奈川県厚木市、厚木市
文化会館(全体会場) 厚木市
立小鮎公民館他(分科会場)

参加費 参千円(資料代・記録集代を含む)

宿泊については、昨年度の東京大会に準じ、宿泊希望者には

み旅館(ホテル)を斡旋する。ちなみに宿泊費は、和風旅館一万参千円(二泊二食付)ホテル八千五百円(一泊二食付)円(税金別、サービス料込)

大会主題 『現代的課題に応える公民館の役割』

一人ひとりの生きがいの創造にむけてい

テーマは大会主題のまま分科会 17部会
なお、本県の担当分科会は第13分科会「乳幼児教育と公民館」となった。

視 点

突然子どもも達になんか「家族」って聞いてみた。小四の息子は「血のつながり。みんないっしょ。幸せ」と。中一の娘はしばらく考え「わかんない」と答えた。大きくなるにつれ、家族は空気の

足元から家族について

手島 勇 平

の子どもの誕生・育児の各時期を終え、今後学童・青年・子どもが巣立つ時期の子育ての他、老年夫婦期の家族関係まで共同生活を通しての団欒、母の末期

ような存在になり答えにくいのか。母が三年前に他界。父は寺役、つれあいは保健婦、そしてわたしの五人家族。その関係は時とともに変化していくのだから。私自身結婚・最初

自立・子育て・介護の自立後の生きがい等家族構成員だけでは解決できない状況がみられる。

従来公民館は家族を女性の自立、家庭教育

公民館活動の今昔

安藤 雅 英



戦争の終結により大勢の若者が復員し村は活気を取り戻した。それから何年後であつたらうか、当時西三川村の住人であつた私に役場の藤井助役さんから役場へ来るようにと通知があつた。同じように集まつたメンバーは集落代表の若い男女七、八名であつた。

助役さんは、新しく公民館なるものを設置するので協力してほしいという。そして何回か集まり話し合つた記憶がある。本格的に公民館活動に取り組んだのは真野町に合併してからであらう。当時は町に本館、各集落に分館を設けていた。分館には分館長・副分館長があり、親父連、総務部、社会教養部、産業経済部、家政部、レクリエーション部、青年部等が置かれ、若者が役についた。事業は当時の社会情勢にあわせて新しい民主主義についてを社教部が、食料増産の講習・講話は産業経済部が、生活改善関係は家政部が、娯楽の少なかった集

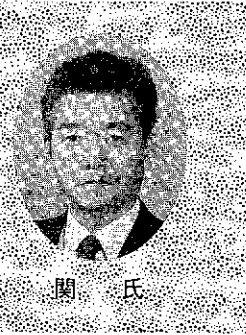
ひ ろ ば

落を明るく楽しくしたレクリエーション部と、どの部も若者を中心とした活動で、戦後の農村社会の復興に大きく貢献した。戦後の公民館活動は農村が盛んで都市部は低調であつたと聞いている。やがて公民館の在り方も変わり「町の公民館」「地域公民館」と別れた。

日本経済も高度成長時代を迎え、若者は都会へと流れ、町や村にも若者が減り田畑の仕事も人で不足の時代を迎えるのであるが、この時期から農村の公民館活動は停滞し、逆に都市の公民館の活動が盛んになっていったようである。

社会の変わり様は実に早く、経済大国と自負したわが国も、不況のどん底へ。加えて米の部分的自由化とくれば農家への打撃は大きい。今こそ公民館魂を発揮して町おこしの一翼を担うべく新たな気持ちで公民館活動に知恵を絞る必要がある。しかし、具体的策は直ちには浮かばない。慌てず焦らず、ポツリポツリとやるしかなさそうである。(佐渡郡真野町公民館運営審議会委員)

課題をおって への対応 での訴え～ 関 四郎氏



関 氏

「高齢者大学」はその名称が「寿」とか「長寿」とかの違いはあっても、多くの公民館の定番になっていく事業である。しかし、「大学をでたけれど」の世相のとおり、受講終了者の活躍の場を広げることが共通の悩みになっている。

その課題を解決する一つの方法として、長岡市の中央公民館では「地域高齢者学習活動協力員」の制度を実施している。

(このたび、高齢者大学卒業生のアフターケアをねらったシンポジウムが開催されたので、公民館が特に配慮する必要のあることについてレポートしてもらった。)

一、「地域高齢者学習活動協力員」の制度とは

長岡市中央公民館では平成元年三月、公民館運営審議会から「高齢者学習活動の推進について」の答申を得、地域における学習並びに社会参加活動の活性化をめざし、地域活動の指導者及び活動の主体となる人材の育成を図る「長岡市高齢者大学」を開設しました。(要項は表2、学習計画は表3参照)

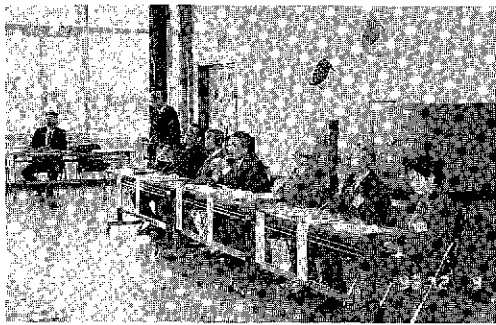
入学資格と条件は、①おおむね六十歳から六十五歳、健康で二か年間継続参加でき、地域活動に協力いただける方。②地区公民館ならびに校区公民館(長岡市固有の公民館体制)の推薦によることになっています。

二か年にわたる学習終了の後、二「地域高齢者学習活動協力員」として市内三十の地区・校区公民館長の委嘱を受けるものです。一期生は平成二・三年受講者三十八名で、このうち公民館長・主事になった三名を除く全員が協力員に委嘱され現在活躍中です。

協力員の役割等については設置要項に示されていますが、任務については表1に示したとおりです。

(表1) 協力員の任務

- (1) 地域の高齢者の学習計画について、地区館長・主事が行なう企画立案に参画し意見を述べる。
- (2) 実施する学習事業の運営に對し、必要に応じて助言・指導を行なう。
- (3) 高齢者学習活動のニーズの把握に努めるとともに、必要な学習情報を提供すること。
- (4) 高齢者の学習・事業等を効果的に推進するため老人クラブ等との連携を図る。
- (5) その他高齢者学習活動事業に關し必要な事項について、館長の求めに應じ意見を述べる。



(表2)

| | 1 期 | | 2 期 | |
|---------|----------|----------|----------|----------|
| | 1 年次 | 2 年次 | 1 年次 | 2 年次 |
| | (H 2 年度) | (H 3 年度) | (H 4 年度) | (H 5 年度) |
| 受講者数 | 38名 | 38名 | 38名 | 37名 |
| (修了者数) | | 38名 | | |
| 学習期間 | 9月～3月 | 4月～11月 | 4月～12月 | 4月～2月 |
| 学習日数 | 10日間 | 15日間 | 15日間 | 15日間 |
| 学習時間 | 25時間 | 36時間 | 38時間 | 42時間 |
| 学習内容 | | | | |
| ①リーダー育成 | 6 | 10 | 8 | 8 |
| ②地域づくり | 8 | 6 | 10 | 12 |
| ③高齢者関係 | 6 | 8 | 8 | 12 |
| ④一般教養 | 5 | 12 | 12 | 10 |
| 内・館外学習 | 1回 | 1回 | 2回 | 3回 |
| 特別学習 | 0 | 0 | 0 | 1回 |

二、シンポジストの発言

シンポジウムは、年間学習計画の中に位置づけられたもので、今年度新規に二回実施された。このうち、十二月九日(日)に行われた第二回シンポジウムの要旨です。一期生からも参加してもらい二期生との交流によるもので、主題「望まれる協力員活動」についてのシンポジウムに提起された内容です。

Tさん(女) 校区公民館では、活動の時間と空間(場所)に種々の制約があり、現時点では、①現在進めている活動の確認、②問題点の把握、③進むべき方向を探るといった程度の活動に止まっているが、幸いなことに地区公民館として新設の計画があるという。

Hさん(男) 活動に利用できる施設に恵まれていること、またまりの良い地域であることを生かして、老人会の立場(窓口)から協力員としての活動を展開して行きたい。特に地域の特性を生かした、サークル活動を活性化したい。

Aさん(女) 今、給食ボランティアとして活動している立場から、公民館との関わりを考えると、協力員の任務の中に福祉に関わるものが何もないことは大きな問題と考える。協力員の活動の範囲の狭さについて考えさせられる。

学習で得た新しい公民館活動の方向は、新しいコミュニティづくりにあると学んできた。このように、公民館の学習活動は、地域の高齢者の学習計画に参画し意見を述べる。実施する学習事業の運営に對し、必要に応じて助言・指導を行なう。高齢者学習活動のニーズの把握に努めるとともに、必要な学習情報を提供すること。高齢者の学習・事業等を効果的に推進するため老人クラブ等との連携を図る。その他高齢者学習活動事業に關し必要な事項について、館長の求めに應じ意見を述べる。

シリーズくらしの 高齢者大学終了生

～学生シンポジウム

長岡市中央公民館
社会教育指導員

第2期(平成4年度～5年度)
長岡市高齢者大学・学習計画(表3)
(第2年次)

| 回 | 月日 | 学習主題 | 講師 |
|----|--------------|--|-----------------------------|
| 1 | 4/22 (木) | ○始業式 ○記念講義 「生涯学習と公民館」 (新しいコミュニティを求めて) | 元新潟短期大学 講師 田辺 正直 |
| 2 | 5/13 (木) | ○高齢者の健康と レクリエーション | 長岡婦人レクリ エーション学苑 荻野 茂子 |
| 3 | 5/27 (木) | ○人間社会と病氣 「エイズ」を 考える | 県環境保健部 公衆衛生課 主査 片桐 幹雄 |
| 4 | 6/10 (木) | ○体験 長岡の古代文化 「縄文の世界」 | 館外学習 文化財審議委員 河部 郁一郎 |
| 5 | 6/24 (木) | ○リーダーの条件 期待される 高齢者リーダー | 上越教育大学 教授 前田 幹 |
| 6 | 7/8 (木) | ○福祉の心 | 新潟福祉医療 専門学校講師 谷内 清吾 |
| 7 | 7/22 (木) | ○福祉施設を 訪ねる | 館外学習 各施設 職員 |
| 8 | 8/26 (木) | ○女性と地域 女性が変われば、 地域が変わる | 地域づくり アドバイザー 小野 麻子 |
| 9 | 9/9 (木) | ○高齢社会の 法律知識 | 弁護士 七起 |
| 10 | 9/30 (木) | ○生涯学習論 わたしの生涯学習 | 長岡技術科学 大学講師 村田邦子 |
| 11 | 10/14 (木) | ○長岡市の公民館 シンポジウム 「私の公民館論」 | 前長岡市 社会教育指導員 金山 茂 |
| 12 | 10/28 (木) | ○生涯学習関係 施設を訪ねる | 館外学習 各施設 職員 大学担当 職員 |
| 13 | 11/19 (木) | ○地域医療と 健康づくり | 斎藤記念病院長 斎藤 隆景 |
| 14 | 12/9 (木) | ○シンポジウム 「望まれる協力員 活動」 | 合同交流学習 公運審委員 石橋 馨 |
| 15 | 2/24 (木) | ○修了式 学習活動感想発表 汇报会発表式 | 市教育委員会 学級運営委員会 |

※ 特別学習活動(特活)計画
下記、学習活動計画のほかに、自主運営を核とする
特別学習活動(特活)を計画します。
詳細は、運営委員会で立案し、提示します。

Wさん(男) 地区公民館の活動
状況を見ると、学んできた世
界はもっと広がったと思う。だ
から、視野を広げ工夫できる方

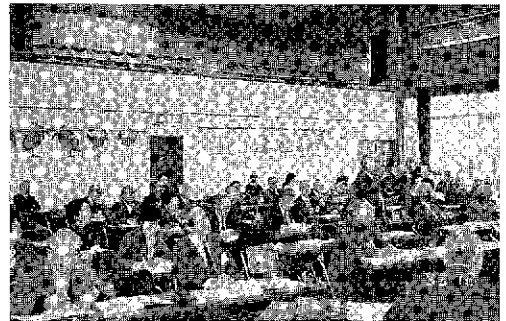
きたい。
ミニティづくりに力を注いでい

都市化傾向の強い地域では、
連帯感の希薄化や新旧住民のコ
ミュニケーション不足、生活意
識の多様化など各種の問題が山
積している。したがってその実
態をよくつかみ対応することが
これからの課題であろう。

① 高齢者のみでなく、各世代
の人たちにとけこむこと。
② 館長・主事との役割分担を
は地区公民館長として活躍中)

向を求めていきたい。
地元にも有能な人材は多い。
それらの方々を発掘活用してい
きたい。
また、公民館活動の現状に対
し、協力員としての考えに
ギャップがあるので、それをど
う埋めていくかが課題である。
Oさん(男) 七十歳以上の者で
組織する老人会が即高齢者教室
として運営されており、集会や
活動に便利。この方法は生かし
たい。

話し合い、意志の疎通を図っ
ておくこと。特に、「活動を共
にすること」常に先を見ている
確なリーダーシップを発揮す
ること」が大切なことを提唱
したい。



Tさん(男) 一期終了生で現在
は地区公民館長として活躍中)

① 人間関係を築くことが最優
先である。大学で学んだ多岐
にわたる学習内容を有効に生
かし、新しい風を吹き込むた
めにもまず飲むことから始め
たい。
② 活動領域は高齢者対象のみ
でなく、全領域にわたること
が大切である。委嘱状には「地
域高齢者学習活動協力員」の
文字が入っているが、高齢者
のみを対象としたものであつ
ていいのだろうか。
③ 公民館活動は、学校教育活
動と両輪であることを認識す
ること。例、学校週五日制の
問題や健全育成の問題など。
④ 望ましい協力員活動の成否
は、各公民館(長)が協力員
をどう受け入れるかがポイン
トである。

四、課題と方向

高齢者大学第二期の終了時期
を間近にして、「高齢者学習活動
協力員」の性格や任務について
明らかにしようとした今回の学
習は十分な成果を得ることがで
きたと考えます。

なお、シンポジウム以外の参
加者の本音と思しき声の幾つか
を列挙しますと、

① 具体的な協力員活動の内容
を捉えきれない不安と、高齢
者を対象にしているという限

定された領域の活動への要請
に対する不満。

② 委嘱はされたが、活躍の場
面を得られない不満と、場面
が作れないもどかしさ。

③ 制度の周知不足と活用の消
極性。

④ その他、実情と理念の調整
の難しさ、人間関係構築の大
切さと緊急性、協力員の組織
としての研修と結びあい、ポ
ランティア・スピリットの涵
養などが指摘されてきました。

これらのうち早急に対策を講
じなければならぬものとし
て次のことが指摘できます。

(1) 協力員の活動対象領域見直
しの必要

活動の対象領域を高齢者に
のみ向けていることは、指摘
のとおり確かに狭い。高齢者
ほど社会に役立ちたいという
意識が強いことを考えると

き、設置要項の見直しをも含
めて早急に打開策を検討する
必要がある。

(2) 「協力員」の周知不足と活
用の消極性について

今日の情報化社会の利点を
發揮して、全市とりわけ新興
住宅地への浸透策を検討する
こと、地区公民館長・主事の

「協力員」活用への認識の更
改を迫る具体策の樹立を痛感
しました。

集落づくりは

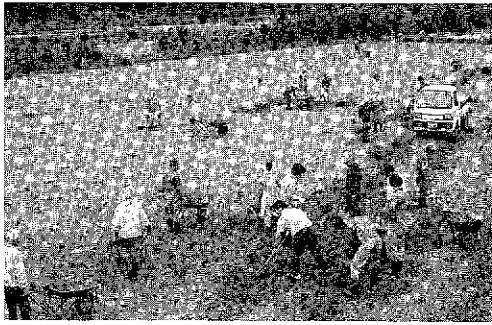
みんなの話しあいから

山北町越沢集落の場合

今県下各地で「地域づくり」がさかん。町村単位イベントから集落単位のものを取り上げる事業は様々である。が、どこにも集落公民館の出番があるように思われる。ここに紹介するのは山北町越沢集落「ふるさと創越会」事務担当齊藤明氏による村上岩船郡公連主催の生涯学習振興大会での実践発表の要旨である。

一、はじめに

新潟県の最北の山北町にある越沢集落は、JR羽越線越後寒川駅から南東に3.5kmのところの位置している58世帯208人の人口の集落である。昔は農林業中心であったが、現在は職種雑多な兼務のむらです。



二、集落事業への取り組み

国の一億創生資金による町の『魅力ある集落づくり事業』に取り組むことになったのは平成二年二月のことでした。事業を推進するための組織は集落の総会でこの事業の趣旨を説明し、理解を求め、「ふるさと



創越会」を結成。委員会を構成することになりました。

委員会の構成は、集落の理事会員と各団体より2名の合計26名で、委員長には集落の総代(区長)、副委員長には集落公民館長がその任にあたることになりました。事業に要する経費は、当初町からの助成金百万円と集落からも百万円の支出が承認されました。

三、事業の経過

集落づくりのテーマは、話し合いの結果「ふれあい多い健康な里づくり」を掲げました。魅力と活力のある集落づくりというのは、住民が健康であること、集落の和にあるからです。

そのため、話し合いの機会をより多く求めることにし、集落の融和親睦が深まることを期待しました。

まず、みんなの知恵を出しあって集落づくりに取り組むため、徹底した話し合いによることにしました。例えば、始めから集落のみんなで話し合う方法は、一部特定の者の発言になってしまいがちです。これでは、隠れた意見を見逃すことになってしまいます。住民みんなの意見を反映したものにするため、隣組を活用した小単位の集会で意見を出しあうことにしました。幸いにも隣組の組織がまだ残っていた

からです。そこで、委員全員が分担して各隣組に入り、まとめ役となり、話し合いの結果を委員会に報告することになりました。その協議題は次の三点です。

- ① 現在のものとも必要に迫られているものはないか。
- ② 古くからの生活文化資源の掘り起こし。
- ③ テーマにふさわしい事業にどんなものがあるか。

隣組でのこれらの意見が委員会に持ち込まれ、それを委員会で検討し、「河川敷を利用した運動広場づくり」と「郷土芸能の獅子舞の保存」の二つの事業に集約され、取り組むことになりました。

その外に提起されたいくつかの事業は、今後の長期計画として、無理をしないで逐次進めていくことになりました。

「運動広場の整備」については、集落民による労力奉仕が11回、人の手でやれないところだけを請負作業とし、2年間の継続作業で完成しました。

今では「ふれあい広場」と命名され、毎日午前中は老人たちがゲートボールで楽しんでいきます。午後は子供の広場になり、夕方は若者の利用が目立っています。獅子舞は、「越沢若獅子会」が誕生し、秋祭りには欠くこのできないものとして活動してい

四、今後の課題

完成した「ふれあい広場」の管理と施設の有効利用をどのように進めていったらよいかということ。町の行政が作った施設であれば、町が管理することになるのだが、自分たちで作った自分たちの施設をどのように自分たちで維持管理していくかということです。

また、「健康づくり」や資源を生かして「誘客イベント」「山ゆりの里づくり」などの事業をどのように調和させ、魅力ある活力ある集落にするかがこれからの大きな課題です。

五、おわりに

全体会議・隣組会議合わせて39回に及ぶ会合を持ち、集落の住民一体となって、みんなで考え、全世帯が作業に加わり、自分たちの手で完成させた事業は「大勢の力の偉大さ」と「やる気になればできるという自信」を住民みんなで感じとった事業でした。

「魅力と活力のある集落づくりは話し合いの場づくり」をモットーに町行政におんぶにだっこではなく、自分たちが主体となってやる気を出すことが大切であることを感じました。

(文責編集部)

サークル交流

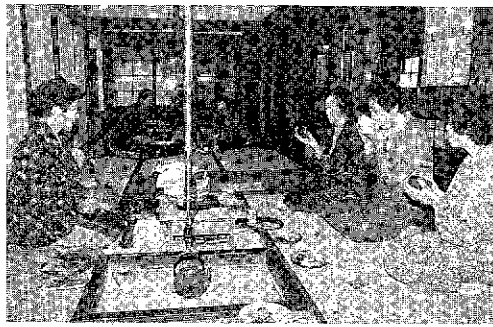
伝えたい美しい風習

バタバタ茶!!

糸魚川市 バタバタ茶の会

バタバタ茶は、番茶に少量の塩を入れ、細い竹と二本合わせた茶筌で泡立てたもので、とてもめずらしい風習です。昭和の中頃までは、庶民の気どらない「お茶飲み」で、大人から子供まで親しみ、空腹の虫おさえの役割も果たしていたようです。

郷土の文人相馬御風の絶賛したこの風習も、今では、たしなむ人も少なく、わずかに「一二三会」というサークルで細々と活



動していましたが、平成五年三月に保存と普及を目的に「バタバタ茶の会」として発足しました。発足後、一年足らずですが、その活躍はめざましく、市民茶会・行政・企業・学校や各種イベントからの要請等、会員一同積極的にとり組んでいます。

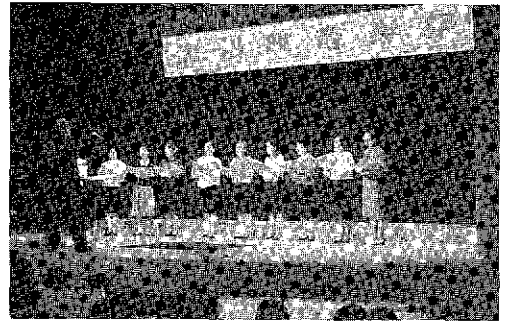
現在の会員は四十数名ですが高年齢者がほとんどを占め、次代につなげるべく、伝承活動をいかにしていくか課題となっています。若い世代に一人でも多く体験してほしいという願いから、学校のクラブ・ふるさと学習に熱意を燃やしている現状です。

(バタバタ茶の会事務局 山本明美 記)

新たな前進を求めて

津川町 コーラス木声会

小学校のPTAコーラスから始まったこの会も昨年で20年を経過いたしました。その間に愛好者だけが残って独自の会を創りこれまで活動を続けてまいりました。現代の会員数は15名、毎週木曜日の夜に公民館を会場に定例練習を行っております。合唱は多くの人々が集り心を



一つにして創り上げるところに真のすばらしさがあるものと思えます。この会は残念乍ら発会以来20名を越えることなく増減をくり返しており、会員数の増加が最大の課題となっております。主な活動としては4月に県民会館で行われる「お母さん音楽会」と11月の「津川町音楽祭」への参加です。この二つの行事に参加するため、独自に課題曲を選定し定例会での練習に励んでおります。年々平均年齢は上昇傾向ですが、気持の方は決して老化せず、いつも新鮮な感性を持ちつつけるよう努めております。これからも息の長い活動の中から少しづつでも前進できるように一同願っております。

(コーラス木声会 欠部隆記)

柏崎市中央公民館主査

小林 泉 氏 (36歳)

「気はやさしくて力もち」の言葉通りの人物。もちろんスポーツ万能人でもあり、高校時代は甲子園出場者でもある。現在は体重105kgとやや太めの彼ですが動きはすばやく、名前はやさしく「泉」いずみ。毎日大きな体に汗を流してチビッ子達を相手に事業を展開中。特に、おもしろ探検隊長として活躍目ざましい。チビッ子達と



もしろ探検隊長として活躍目ざましい。チビッ子達と

は気が合うのか、滅法もてもてであり満足しているようだ。以前は体育課勤務、スポーツ関係事業、大会運営はお手のものであり、心強いスタッフの一員である。事業については、体の割に密な計画を立てて自から先頭にぐんぐん押し進めて行くタイプ。目下ゴルフ熱におかされ夢みるはゴルフとか。腕前は確かなものがある。公民館職員の大会の覇者であり無敵を誇る程。県下公民館職員の皆様「泉」君に挑戦してみませんか。(柏崎市中央公民館事務局長 五十嵐 勲 記)

素顔拝見

松之山町公民館

大見慶介 氏 (32歳)

「大きく見ると書いて、大見が慶介」は慶応大学の「慶に介」です。大見慶介、彼は自分の名前を電話で伝える時、いつもこう言うて説明する。



町の「ロマン24耐久マラソン」「寺泊シーサイドマラソン」にも出場した。そして、とうとう飲み会の後までもタクシーを使わず、自宅まで走って帰るようになった。遠くは、十日町市からで、その時は途中で白々と夜が明け始めたとか。彼を一言で表現すると「不思議な人」。彼の話が、動きが、なぜか楽しく、おかしい。

社会教育に來て二年目。社会体育担当ということで自ら手本になるべく体力づくりを始めました。タバコを止め、お昼休みのジョギング。いつまで続くかなと、リタイヤする日を密かに心待ちにしていた回りを裏切り、走ることにすっかり魅せられてしまったようだ。昨年は、松代

(松之山町公民館 田辺 久子 記)

恵贈資料紹介

写真でみる

新潟の女性史

新潟女性史クラブで刊行



新潟女性史クラブ (代表細井幸代)では、このほど『写真記録にいがたの女性史』を刊行した。

新潟女性史クラブは、昭和五十年代に新潟市中央公民館で「女性史講座」を学んだ仲間たちが講座終了後も自主活動により女性史の研究を続けているグループである。

すでに昭和56年には彼女たちの母親の生きざまをおして



「家」を主体とした女性の生き方に問題を提起した著「電のうた」を刊行。つづいて平成元年には、新潟の地に生まれ育ち自分の道を切り開いた十一人の女性の生き方にスポットをあてた書「雪華の刻をささむ」を刊行している。

両書ともグループの一人一人が自分の足で資料を集め、何回も面接取材を重ね正確を期するなどの努力の研究書であるが、このたびもその手法を継承して

貴重な写真資料を取集したもので、

本書の特色として次の三点を挙げています。

1 新潟県の女性たちの百余年を写真で構成したもので、初めて女性だけの写真集。

私たちの祖母や母、姉たちの生きた足跡が三五〇枚の感動的な写真集である。

2 明治・大正・昭和の個性豊かな新潟県の女性たちの汗と涙の歴史ドラマがよみがえ

恵贈資料紹介

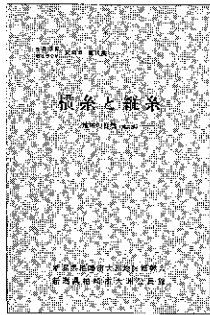
『横糸と縦糸』

第二部

柏崎市大洲公民館

柏崎市大洲公民館長の田辺直氏から『横糸と縦糸』の地域自然第二部となる生涯学習地域づくり資料集第10集が贈られた。

この資料集は、先に刊行している「地域の自然第一部」の続編として編集されたもので、B5判36ページの学術誌である。



る。

3 可能なかぎり拡大し、豪華なワイド判(25×25センチ)みんな女性生き方を考えることのできる好著である。

なお、本書は二月中旬発売予定で目下予約受け付け中とのこと、購入希望の向きは最寄りの書店へ。

定価 四、五〇〇円
発行元 郷土出版社
発売元 嶺北越書館

○柏崎港付近の海鳥水鳥

小林 成光

○大洲地区で見られる魚類

中村 幸弘

○大洲地区(赤坂山公園内)に見られる植物

佐藤 俊男

あとがき

◆立春をとうに過ぎたというのにこの寒さでは、越路の春は遅くなりそうです。風邪を引かぬようにご留意のうえ年度末の事業のしめくり頑張りましょう。

◆同じように遅いのが国の予算の成立状況。例年ですと公民館施設建築補助額は十二月中旬に決まっているのに今年はまだです。全公連では陳情運動は十二月末で終了を宜していますが、どうも勝手のちがった年です。(上村記)

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟(025)224-6073】

発行人 会長 細川 正博

編集人 事務局長 上村 捨二郎
【定価1部130円 年共・年極1,560円】

ちなみに、掲載されている論文名と執筆者は次のとおり。
○大洲地区沿岸の貝類
失われつつある自然環境
とそこに生息している貝類
について 小林 進一